

旧東清掃事業所に係る土壌概況調査の結果について

旧東清掃事業所（旧し尿処理施設）の解体に向けた事前調査として土壌調査を実施したところ、一部の区画で基準の不適合が確認されたため、次のとおりお知らせいたします。

1 土壌概況調査について

(1) 対象敷地

旧東清掃事業所（相模原市南区古淵5-33-1） 昭和37年操業開始

(2) 調査（契約）期間

令和3年6月から令和4年1月まで

(3) 調査方法

土壌汚染対策法に定められた方法で使用履歴が確認された特定有害物質9物質について、対象敷地を30m×30mで区分して調査しました。なお、建物の下は今回の調査に含んでいません。（解体時に実施予定）

2 調査結果について

土壌含有量試験において、38区画（1区画30m×30m）中3区画で「鉛及びその化合物の土壌含有量」が基準不適合となったため、当該3区画をさらに細分化（1区画10m×10m）し、敷地外を除く23区画を対象に追加調査を実施しました。

調査結果は裏面のとおり、23区画中10区画で基準不適合となりました。

なお、明確な原因は不明です。

3 基準不適合となった区画への対応について

当該地は、旧東清掃事業所の閉鎖（平成27年9月）以降、立入禁止区域としております。また、基準不適合となった区画には、土壌の飛散防止のため裸地部分に養生シートを被せる法令上の措置を講じました。なお、土壌溶出量試験は基準に適合しているため、地下水への影響はございません。

<養生シート施工状況の写真>



4 今後について

基準不適合となった細分化後の10区画については、令和4年度に土壌汚染対策法に基づく土壌詳細調査（ボーリングによる深度の確認）を行うとともに、調査結果等を踏まえて適切な対策を講じてまいります。

<調査結果>

調査対象面積：23,078 m²



(拡大) 鉛及びその化合物土壌含有量基準：150 mg/kg

調査区画	土壌含有量
D4-2	440 mg/kg
D4-5	600 mg/kg
D4-7	220 mg/kg

調査区画	土壌含有量
D5-3	290 mg/kg
D5-4	240 mg/kg
D5-8	210 mg/kg
D5-9	430 mg/kg

調査区画	土壌含有量
E6-2	390 mg/kg
E6-4	210 mg/kg
E6-6	1600 mg/kg

